

千葉県酪農のさと 嶺岡牧講演会

2024 年 度 第 1 回

嶺岡馬頭観音巡りを振り返る



鴨川市宮の馬頭観音

【目次】

嶺岡牧周辺の馬頭観音・・・・・・・・・・・・・・・・	日暮 晃一	1
嶺岡馬頭観音巡りに参加して・・・・・・・・・・・・	内田 正教	3
ミニ企画展・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		9
嶺岡馬頭観音の魅力・・・・・・・・・・・・・・・・		13

嶺岡牧周辺の馬頭観音

日暮 晃一

わくわくドキドキ過ごして

I. 178 基の馬頭観音をめぐって

嶺岡馬頭観音巡り第 i 期は、2021 年 9 月から 2024 年 5 月まで、1 ヶ月おきに嶺岡牧周辺の馬頭観音をめぐり、計 17 回、178 基の馬頭観音を訪ねた。そこで得られた成果を、極簡単にまとめることとする。

II. 嶺岡牧周辺の馬頭観音

嶺岡牧周辺地域で、長狭郷に属する馬頭観音をめぐった結果を整理すると、以下の通りである。

a) ほとんどの馬頭観音が柔らかくて刻みやすく、しかも地衣類が繁茂することも少ない嶺岡牧産の蛇紋岩製である。しかし、地点により蛇紋岩の性格が異なり、斑礫岩との区別が難しい石材等が認められる。

b) 新たに発見された 1 基を含めて立像は 3 基だけで、他の 176 基は坐像である。しかも、結跏趺坐の馬頭観音像はなく、全てしっかりと座っており、例外は存在しない (図 1)。

c) 個々の集落から嶺岡牧の木戸に向かって登る道筋に沿って、顔の縦横比率や、製作技法が類似する馬頭観音像が並ぶ (図 2)。

d) 嶺岡牧の馬頭観音として、瞑目相、1 面 2 臂、僧衣、合掌印が多い、坐像の、嶺岡牧型が広汎に認められる (図 3)。

e) 海岸部は、寺院やお堂跡の一部に接して並ぶ馬頭観音がそのほとんどで、道路等に建つ馬頭観音は希である。これに対して、海岸部から離れるに従い、道路筋に建てられるもの、個人の墓場前に建てられる馬頭観音が増える。その一方で、村境に外から入り込む禍を取り除く仏としての馬頭観音が建てられる。

f) 坐像である点は変わらないが、僧衣でなく条帛で、三叉剣、斧、法輪、宝棒、数珠を持物とし、多くは 3 面で、憤怒相、馬口印の馬頭観音が近隣にみられる (図 4)。これらは、寺院やお堂跡の一部に建っていたとみられる。



図 1 しっかり坐っている鴨川市観音堂の陽像 (第 7 番馬頭観音)



図 2 馬の鬘が表現された百年前木戸の馬頭観音 (第 18 番馬頭観音)



図3 嶺岡牧型馬頭観音の上小原大木戸ライン状の馬頭観音（第43番馬頭観音）



図4 鴨川市成川等各院覚院に建つ坐像の馬頭観音（第70番馬頭観音）

g)貝渚観音堂の馬頭観音、曾呂東の馬場脇馬頭観音、南小町墓場山の馬頭観音は、地元の彫師による馬頭観音ではなく、名のある彫師に依頼したものと思われる。

h)海浜部は陽像が多く、海岸から離れるに従い文字塔が多くなる。大山地区に入ると、基本的に文字塔となる。旧荒川に当たる平塚の馬頭観音は、平群の石切丁場産で、平群の彫師が刻んだ馬頭観音とみられる。

i)大山地域の馬頭観音は、文字塔で、1石に馬頭観音に加えて大日如来を刻んだものがみられるようになる。馬頭観音は原動力としての馬、大日如来は酪農を示すものと考えられる。しかし、馬頭観音を、牛の骨を埋めたところとも伝わるなど、牛頭観音が無く馬頭観音だけの長狭郷では、馬頭観音が牛の供養塔としての意味を持つことも十分考えられる。

j)明確に牛大日の象は、鴨川市池田の地藏堂だけで確認されたに留まる。頭上の顔が馬ではなく、角をたくわえた牛の頭部であった。同様な牛大日の象が、まだ確認できていない可能性がある。

Ⅲ. 変わる嶺岡馬頭観音の扱い

2011年～2012年に馬頭観音調査を行った時は、馬頭観音の洗浄をしていると、何をしているのかをみに来て、感謝されるのが常であった。10年の月日が流れ、2021年から嶺岡馬頭観音巡りで洗浄を行ったところ、人が変わり、馬頭観音をみせることを拒み、苦情を言う家が多々出てきた。

馬頭観音は、嶺岡牧文化を構成する主要な柱であり、公共財の性格を有する。しかし、私的財産の延長で、本来所有者でない馬頭観音を、個人所有に組み込んでしまう過ちが一般化しつつある。地域文化の高さを確保する努力が必要となる。

Ⅳ. 閉じた嶺岡馬頭観音巡りから

嶺岡馬頭観音巡り第1期は、閉空間の中での馬頭観音巡りであった。したがって、馬頭観音文化がどのように変化するかは明確にし得ていない。馬頭観音文化は、チッコカタメタノ食文化と異なり、外の文化との違いが明確にできていない。馬頭観音文化圏のなかで、嶺岡馬頭観音の特徴を明確にしていきたい。

今回は、閉じた空間の中で分かった馬頭観音について、簡単に整理した。しかし、型式論による検討を行えなかった。今後の課題としたい。

嶺岡馬頭観音巡りに参加して

内田 正教

日本石仏写真倶楽部

はじめに

2021年7月に「千葉県酪農のさと」が主催し、江戸幕府の馬の生産地『嶺岡牧』にある450体程の馬頭観音を巡るイベントを行う情報を得て、私も石仏写真の中でテーマである馬頭観音が気になり参加させていただきました。

2021年9月から2024年5月まで17回の第1期馬頭観音を巡るで178体+αの浮彫と文字の馬頭観音を見ることができました。参加されている方々が殆ど地元の方で、他の地域の馬頭観音を知らない、私が色々としているようなので、他の地域と何か違うところや嶺岡独自の長が有ったら話して欲しいと主催者の方に依頼されました。

私は、写真を撮ることを趣味としている愛好家で、石仏の研究者でも僧侶でもなく、石仏や仏教のことは良く解っておらず、私なりの、見たなりの、思ったなりの、ことでよければとお受けしました。

I. 嶺岡の浮彫の馬頭観音には「仏教的馬頭観音」が多く見られた

私が勝手に言っている「仏教的馬頭観音」とは、膨大な仏教經典に説かれた『馬の頭を頭上に戴き、三面八臂で忿怒相に炎髪そして馬口印』を基本とする馬頭観音を言うことにしている(図1)。「仏教的馬頭観音」は、西国・秩父・四国霊場などの写し観音に多く見られ路傍には少ない。

路傍等に見られる馬頭観音は江戸時代に入り世の中が落ち着き、馬は農耕馬や荷役馬として重用され、農家も馬方も家族の一員であった愛馬の無病息災や長寿・安産・安全などを願うもの、または供養塔として建立されたものを私が勝手に言っている「庶民的馬頭観音」で、浮彫は殆んどが穏やかな表情の一面二臂像、あと文字である(図2、図3)。



図1 仏教的馬頭観音座位
(鴨川市上)



図2 庶民的馬頭観音座位
(鴨川市押切)



図3 庶民的馬頭観音立位
(長野県白馬村)

Ⅱ. 嶺岡の浮彫の馬頭観音は1体を除き全て座像であった

その1体も台座に猿が彫られており、馬頭観音を主尊とした庚申塔の様に思える（図4）。

一般的には立像が多く、座像は少ない。六観音の馬頭観音は立像である（図5）。



図4 立位馬頭観音
(鴨川市大幡)



図5 六観音
(神奈川県江の島延命寺)

Ⅲ. 嶺岡の馬頭観音は大日如来がよく並べて祀られていた

路傍にある馬頭観音は馬の守護仏で、大日如来は牛の守護仏と教えていただいた。並べられた浮彫や文字、一石に馬頭観音と大日如来の文字を彫ったものもあった（図6～図9）。記憶では長野県白馬村にも一体あったが、大日如来と並べ祀られているのをその他で見たことがない。第1期馬頭観音を巡るでは私も今まで見たことのない牛の守護仏と思われる浮彫「牛大日」1体と文字「牛明王」1体を見ることができた。嶺岡の地域によっては牛頭観音が多く有るという、第2期馬頭観音を巡るが楽しみである。



図6 浮彫馬頭・丸彫大日
(鴨川市東)



図7 浮彫馬頭・文字大日
(鴨川市宮)



図8 文字馬頭・文字大日
(鴨川市北風原)



図9 一石文字馬頭・大日
(鴨川市東)



図10 浮彫牛頭大日
(鴨川市池田)



図11 文字牛明王
(鴨川市東)

IV. 嶺岡牧の馬頭観音は殆んど蛇紋岩に彫られている

今まで石仏の材料としての石材を気にして来なかった。カメラのピントが合い難いと感じ、殆どの石仏が地元で産出される蛇紋岩に彫られていることを知った。他では、安山岩・花崗岩・砂岩・玄武岩などが主な石材だと思う。

蛇紋岩について少し勉強したが、その生成プロセスなどの解説を見ても難しかった。

①上部マントルのかんらん岩が部分的に水分の供給を受け蛇紋岩に変化した変成岩。

②岩石の表面に蛇のような文様が見られることから蛇紋岩と名付けられた。

③蛇紋岩の表面は粘土鉱物を含んでいる (図 12)。

④地質的に脆弱で、風化作用を受けやすく、崩れやすい。

私は今までに数千体の石仏に会ってきたが、青い石仏に初めて出会った (図 13)。青蛇紋岩は含まれている成分の何かが空気や光や水などによって変色するのであろう。

主催者の方が巡る前に下見をして、ごみや汚れを取り除いて下さっているようですが、蛇紋岩に苔や地衣類が殆ど見られない。地衣類を取り除くのは簡単ではない (図 14)。蛇紋岩の表面には粘土鉱物があるからか？何か特殊な成分が含まれているのか？



図12 粘土鉱物？
(鴨川市貝渚)

V. 嶺岡の素晴らしい馬頭観音

嶺岡の馬頭観音は、他地区に引けを取らない素晴らしいものがあり幾つか掲げます（図15～図22）。



図13 青蛇紋岩
(鴨川市上小原)



図15 鴨川市貝渚



図14 苔・地衣類
(新潟県十日町)



図16 鴨川市宮



図 17 鴨川市宮



図 19 鴨川市大幡



図 18 鴨川市北小町



図 20 鴨川市宮山



図 21 鴨川市宮



図 22 鴨川市上小原

おわりに

私なりに、嶺岡が他の地域と何か違うところや特長
と思ったところを4項目挙げて見ました。嶺岡は牧と
いう馬の生産地で他と異なった環境があり、独自の馬
頭観音の世界があるように思います。

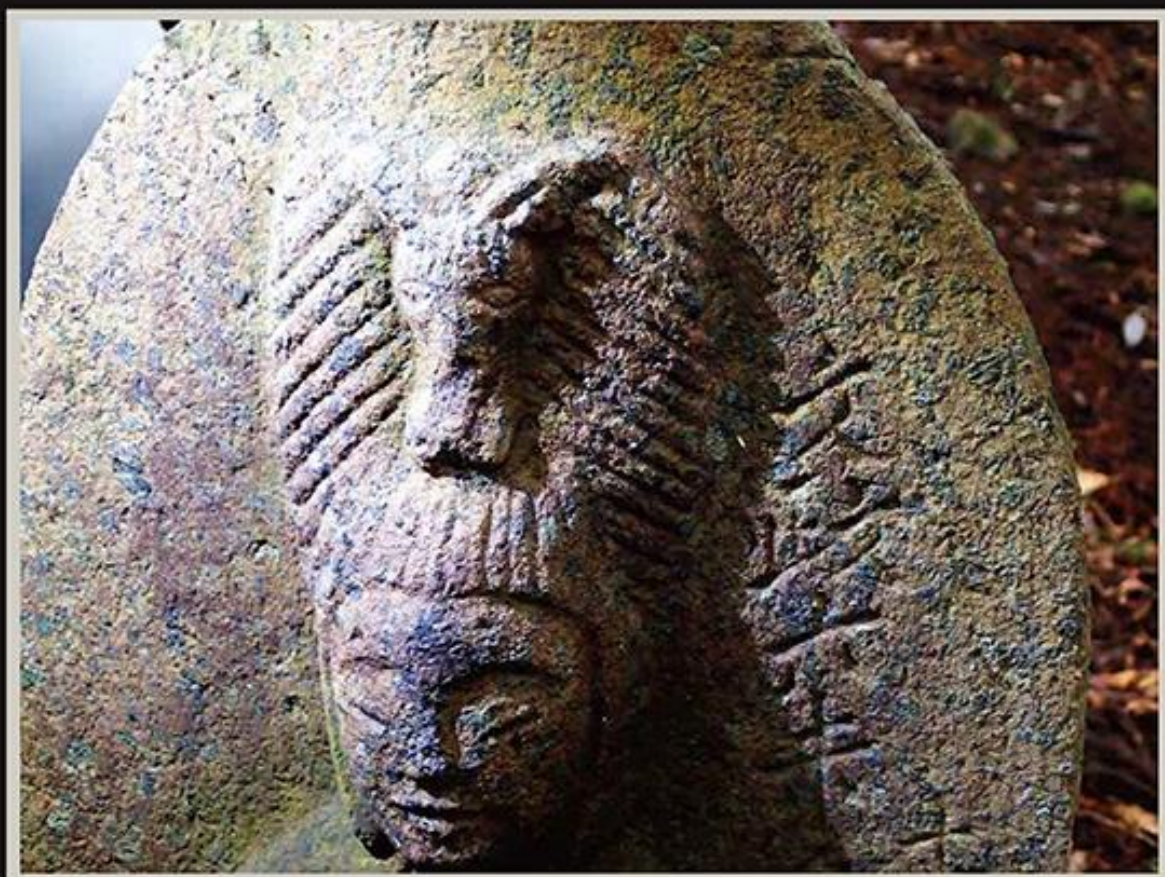
日暮先生や千葉県酪農のさとの「馬頭観音を巡る」
スタッフの方々には大変お世話になりました。紙面を
お借りしお礼申し上げます。「第2期馬頭観音を巡る」
も宜しくお願い致します。



2023 年度第 3 回嶺岡牧ミニ企画展

馬頭観音にみる祈りの心

～ “嶺岡馬頭観音巡り” 第2回フォトコンテスト～



第1回嶺岡牧馬頭観音フォトコンテスト最優秀賞受賞作品
藤 雅春 「貝渚木戸のたてがみ馬頭観音」

千葉県酪農のさと 1階多目的ホール

2024年1月10日(水)～3月20日(水)

開館 9:30～16:30 月曜休館 入館無料

千葉県酪農のさと

〒299-2507 千葉県南房総市大井 686 TEL 0470-46-8181 e_mail info@e-makiba.jp

千葉県酪農のさと / NPO 法人エコロジー・アーキスケーブ / 嶺岡牧スチュワード協会



最優秀賞

「馬頭観音三体」 白井 敏二

馬頭観音のアップ画像が多かった中で、目立った一枚です。陽像二体と文字塔一基、其の奥に石像を半分だけ取り込むことで、馬頭観音のおかれている状況がよくわかります。



優秀賞

「孤高のほとけ様」 青木 百合子

嶺岡牧周辺では数少ない、大幡龍光寺の立像馬頭観音を正面から堂々と捉えています。台座から頭頂部までの特徴が良く表現されています。



優秀賞

「いのり」 薛 正春

特徴ある馬頭観音をバストショットで捉えたことが成功しています。半逆光で顔の輪郭を浮き出たせたことで、祈りの感じを際立たせました。



優秀賞

「焰髪天へ」 鈴木 澄枝

嶺岡牧最大級の座像馬頭観音を斜めから捉えて、端正さと迫力を表現しています。素材の質感もよく、背景の取り入れ方も適切です。



優秀賞

「路傍からの眼差し」 白石 典子

三面八臂の馬頭観音の様相がよくわかる作品です。経年劣化でふくよかな馬頭観音におだやかな眼差しを見る想いです。



優秀賞

「迫力」 内田 正教

アップすることで忿怒、馬頭、焰髪が強調されてまさに迫力満点です。焰髪が上部まで表現されていれば、さらに良かったと思います。



優秀賞

俳句 山口 仁

棚田を吹き渡る、冬の激しい風の音。

『心して』のフレーズに作者の想いが見えてきます。

杉林
筋の通って
穂やかに

ヒル除け
塩踏み
馬頭観音めぐり

タナ・アシダケ
タニナク山は
シシダケ

井戸のふち
千榎のなりを
知る椿

多々筋の
加茂の流れや
主基の里

「ミカン取れ」
見知らぬ主は
観音か

千枚田
心して聞く
もがり笛

鉄馬に
仕事とられて
ホーホケキョ

サロン：嶺岡馬頭観音の魅力

第1回 2021年9月12日



第1番馬頭観音



第2番馬頭観音



第3番馬頭観音



第7番馬頭観音



第4番馬頭観音



第5番馬頭観音



第6番馬頭観音



第8 番馬頭観音



第9 番馬頭観音



第10 番馬頭観音



第11 番馬頭観音



第12 番馬頭観音



第13 番馬頭観音



第14 番馬頭観音



第15 番馬頭観音



第16 番馬頭観音



第17 番馬頭観音



第18 番馬頭観音



第19 番馬頭観音

第 2 回 2021 年 11 月 14 日



第 20 番馬頭観音



第 21 番馬頭観音



第 22 番馬頭観音



第 23 番馬頭観音



第 24 番馬頭観音



第 25 番馬頭観音



第 26 番馬頭観音



第 27 番馬頭観音



第 28 番馬頭観音



第 30 番牛大日



第 29 番馬頭観音

第3回 2022年1月9日



第31 番馬頭観音

第32 番馬頭観音
(牛大日?)

第33 番馬頭観音



第34 番馬頭観音



第35 番馬頭観音



第36 番馬頭観音



第37 番馬頭観音



第38 番馬頭観音



第 39 番馬頭観音
(牛大日?)



第 40 番馬頭観音



第 41 番馬頭観音



第 42 番馬頭観音



第 43 番馬頭観音



第 44 番馬頭観音



第 45 番馬頭観音

第 4 回 2022 年 3 月 13 日





第 46 番馬頭観音



第 47 番馬頭観音



第 48 番馬頭観音



第 49 番馬頭観音



第 50 番馬頭観音



第 51 番馬頭観音



第 52 番馬頭観音



第 53 番馬頭観音

第 5 回 2022 年 5 月 15 日





第 54 番馬頭観音



第 55 番馬頭観音



第 56 番馬頭観音



第 57 番馬頭観音



第 58 番馬頭観音



第 59 番馬頭観音



第 60 番馬頭観音



第 61 番馬頭観音



第 62 番馬頭観音



第 63 番馬頭観音



第 64 番馬頭観音



第 65 番馬頭観音



第 66 番馬頭観音



第 67 番馬頭観音



第 68 番馬頭観音



第 69 番馬頭観音



第 70 番馬頭観音



第 71 番馬頭観音



第 72 番馬頭観音

第 6 2022 年 7 月 10 日





第 73 番馬頭観音



第 74 番馬頭観音



第 75 番馬頭観音



第 76 番馬頭観音



第 77 番馬頭観音



第 78 番馬頭観音



第 79 番馬頭観音



第 80 番馬頭観音



第 82 番馬頭観音



第 83 番馬頭観音



第 84 番馬頭観音



第 85 番馬頭観音



第 86 番馬頭観音



第 81 番馬頭観音



第 87 番馬頭観音

第 7 回 2022 年 9 月 11 日





第 88 番馬頭観音



第 89 番馬頭観音



第 90 番馬頭観音



第 91 番馬頭観音



第 92 番馬頭観音



第 93 番馬頭観音



第 94 番馬頭観音



第 97 番馬頭観音



第 95 番馬頭観音



第 96 番馬頭観音



第 98 番馬頭観音



第 99 番馬頭観音

第 8 回 2022 年 11 月 13 日



第 100 番馬頭観音



第 101 番馬頭観音



第 102 番馬頭観音



第 104 番馬頭観音



第 103 番馬頭観音



第 106 番馬頭観音



第 105 番馬頭観音

第 9 回 2023 年 2 月 19 日





第 107 番馬頭觀音



第 108 番馬頭觀音



第 109 番馬頭觀音



第 110 番馬頭觀音



第 111 番馬頭觀音



第 112 番馬頭觀音



第 113 番馬頭觀音



第 114 番馬頭觀音



第 115 番馬頭觀音



第 116 番馬頭觀音



第 117 番馬頭觀音

第 10 回 2023 年 3 月 12 日



第 118 番馬頭観音



第 119 番馬頭観音



第 120 番馬頭観音



第 121 番馬頭観音



第 122 番馬頭観音



第 123 番馬頭観音



第 124 番馬頭観音



第 125 番馬頭観音



第 126 番馬頭観音



第 127 番馬頭観音

第 11 回 2023 年 5 月 14 日





第128 番馬頭観音



第129 番馬頭観音



第130 番馬頭観音



第131 番馬頭観音

第12回 2023年7月9日



第132 番馬頭観音



第133 番馬頭観音



第134 番馬頭観音



第135 番馬頭観音



第136 番馬頭観音



第 137 番馬頭観音



第 138 番馬頭観音



第 139 番馬頭観音

第 13 回 2023 年 9 月 10 日



第 140 番馬頭観音



第 141 番馬頭観音



第 142 番馬頭観音



第 143 番馬頭観音



第 144 番馬頭観音



第 145 番馬頭観音



第 146 番馬頭観音



第 149 番馬頭観音



第 147 番馬頭観音



第 148 番馬頭観音

第 14 回 2023 年 11 月 12 日



第 150 番馬頭観音



第 151 番馬頭観音



第 154 番馬頭観音



第 152 番馬頭観音



第 153 番馬頭観音



第 155 番馬頭観音



第 156 番馬頭観音



第 157 番馬頭観音



第 158 番馬頭観音



第 159 番馬頭観音



第 160 番馬頭観音



第 161 番馬頭観音



第 162 番馬頭観音



第 163 番馬頭観音



第 164 番馬頭観音



第 165 番馬頭観音



第 166 番馬頭観音



第 167 番馬頭観音



第 168 番馬頭観音



第 169 番馬頭観音



第 170 番馬頭観音

第 15 回 2024 年 1 月 14 日





第 171 番馬頭観音



第 172 番馬頭観音



第 173 番馬頭観音



第 174 番馬頭観音



第 175 番馬頭観音

第 16 回 2024 年 3 月 17 日



第 176 番馬頭観音

第 17 回 2024 年 5 月 12 日



第 177 番馬頭観音



第 178 番馬頭観音



嶺岡馬頭観音巡り 第2期



2024年9月スタート 原則隔月の第1日曜日

参加費 各回 1000 円 (保険料・資料代)

申込み 千葉県酪農のさとへ 定員20名 (先着順) 締め切り7月7日 (日)

千葉県酪農のさと

〒299-2507 千葉県南房総市大井 686 TEL 0470-46-8181 e_mail info@e-makiba.jp



千葉県酪農のさと嶺岡牧講演会 2024 年度第 1 回 要旨

嶺岡馬頭観音巡りを振り返る

ミニ企画展

2024 年 7 月 15 日発行

編集・制作 NPO 法人エコロジー・アーキスケープ

発行 千葉県酪農のさと

